

令和4年度 第1回 第8期武蔵野市廃棄物に関する市民会議要録

- 【日 時】 令和4年5月27日（金） 午後3時～5時
- 【場 所】 クリーンセンター2階 見学者ホール
- 【出席委員】 山谷修作（委員長）、田口誠（副委員長）、朝生剛、稲垣貴之、加藤慎次郎、
（敬称略） 志賀和男、杉山日菜子、中村充、西上原節子、三原美菜子、村井寿夫
- 【事務局】 ごみ総合対策課長 ほか
- 【欠 席】 長山楓、花俣延博、茂木勉
- 【傍 聴】 なし
- 【配付資料】
- 資料 1 令和3年度 一般廃棄物処理基本計画 事業取組
- 資料 2 武蔵野市一般廃棄物処理基本計画の策定スケジュールについて
（修正案）
- 資料 3-1 武蔵野市一般廃棄物処理基本計画の基本理念・基本方針について
（検討用案）
- 資料 3-2 基本理念・基本方針検討のグループディスカッションについて
- 資料 4 現計画における施策・事業の進捗状況（令和元年度～令和3年度）
- 資料 5 一般廃棄物処理基本計画の変遷
- 資料 6 一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）
多摩地域等内容比較
- 資料 7 連携協定の締結について
TABETE との連携協定は多摩地域初！フードシェアリングサービス
「TABETE」とリユース等情報サイト「ジモティー」と連携協定を締結

1 開会

【事務局】 定刻となったので会議を始める。

2 議題

（1）令和3年度取組の実施状況報告と令和4年度の取組予定

【委員長】 事務局に説明をお願いします。

【事務局】 資料1についての説明。

【委員長】 事務局の説明に質問はあるか。

【E委員】 集団回収の回収量が前年度から4%減少したかなぜか。

【事務局】 新聞や雑誌などが、タブレットやスマートフォンなどで見られることが多くなってきたためと考えられる。

【A委員】 基本施策（1）④ボランティア活動の取組について、朝一番隊事業を令和3年度以降廃止としているが、自主的な取組が増加しているので、支援があると良い。

【事務局】 朝一番隊を廃止としたのは、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者が減少したためである。確かに商店会や事業者独自のボランティア活動が活発になり、

市として金銭面の助成はしていないが、ボランティア袋を配布することで活動を支援している。

【委員長】ほかに質問はあるか。ないようなので次に進む。

【全委員】異議なし。

(2) 新計画の策定スケジュールの変更について

【委員長】説明をお願いします。

【事務局】資料2についての説明。

【委員長】事務局の説明に質問はないため、次に進む。

【全委員】異議なし。

(3) 新計画の基本理念・基本方針の検討について

【委員長】説明をお願いします。

【事務局】資料3-1、3-2等の説明。

【委員長】では、グループディスカッションに進む。

～グループディスカッション～

【事務局】各グループ発表の後、質疑応答を行う。はじめに第3グループ発表願う。

【J委員】基本理念は、「持続可能」や「循環型社会」という言葉が入ると良い。また、地球規模の問題の解決のような大きな視点を入れることや分かりやすい言葉を使うべきとの意見が出た。

基本方針では、従来の「連携」や「協働」に加え、消費者への教育やライフスタイル、身近なところから考えるという要素が加わると良いという意見が出た。

【事務局】次に第2グループ発表を願う。

【副委員長】基本理念は事務局案1に近い方が良いと考える。「ごみをつくらず」はライフスタイルを変えることにより、ごみをつくらない、ごみにしないようにするというイメージがある。「持続可能」と「循環型社会」という言葉は、どちらか一つが良いが「持続可能」の方が分かりやすいのではないか。最後に「むさしの」という言葉は入れた方が良い。地域で作っている目標であることが分かるためだ。

基本方針は事務局案2に沿ってまとめるのが良いと考える。「連携」と「協働」のニュアンスの違いについて、「協働」の方が「連携」より一歩進んで共通の目標に向かうイメージを持てる。さらに具体的な言葉が入るとより良いため、「リデュース、リユース、リサイクル(3R)の推進」という言葉を入れた。

【事務局】第1グループの発表を願う。

【委員長】基本理念は「環境負荷の少ない省資源型の都市を目指す」とした。「省エネルギー」は「省資源」に含める。現行のものを踏まえ、ストレートな表現にした。基本方針は事務局案1を踏まえ、「市民・事業者・行政の協働によるごみ減量の推進」とした。武蔵野市は市民団体との連携も重視しているが、「市民」にまとめて良いと考えた。その後副題として、「一人ひとりができることから一歩ずつ」と入れるのが良いと考えた。

【事務局】次に質疑応答に移る。

【A 委員】第2グループの発表で「連携」と「協働」の言葉の違いについて意見が出た。私は、「協働」は市の中で対応できるが、「連携」は友好都市など市外とのつながりも出てくるため、「連携」も欠かせないと考えている。その点についてどう考えているか。

【副委員長】言葉に対して持っているイメージだが、「連携」は人と人がつながっているに留まっている状態であり、「協働」は全員が意識をひとつにして同じ目標に向かう状態と捉えた。

【D 委員】第2グループでは「ごみをつくらず」という言葉が入っているが、我々のなかでは、ごみはつくろうと思わなくてもどうしても出てきてしまうので、この言葉を選ばなかった。「ごみをつくらず」という言葉の意味合いを、第2グループのなかでどう話し合ったのか聞きたい。

【副委員長】「ごみをつくらず」に対する言葉として、「ごみの抑制」という言葉の入った案と比較して考えていた。「抑制」というのは、買ったあとに、ごみとして出てしまうものを何とかしてごみとして出さないようにするというイメージがある一方、「ごみをつくらない」という考え方には、最初から買わないなどのイメージがある。また、「つくらず」という言葉のゆるさから、受け入れられやすいのではないかと考えた。

【事務局】皆さんからの意見を総合的に判断し、次回の市民会議にて案を提示したい。

【全委員】異議なし。

3 報告事項

(1) 連携協定の締結(2事業者)について

【委員長】説明をお願いします。

【事務局】資料7についての説明。

【委員長】事務局の説明に質問はあるか。

【I 委員】ジモティーと、既にあるむさしのエコボの違いは何か。また、ジモティーは現在どのくらい活用されているか。

【事務局】ジモティーとむさしのエコボは併存していると考えている。ジモティーはアプリで手続きを行うため、それが苦手な方はむさしのエコボを利用する。ジモティーの実績についてはまだ上がってきていない。むさしのエコボは現在の15か所から令和4年度中に33か所に規模を拡大し、市としてリユースに力を入れていく予定である。

4 その他

【委員長】事務局から何かあるか。

【事務局】議事要録については作成の上、委員の皆様にご確認を頂くことをお願いします。第3回は7月22日(金)に開催予定である。

【委員長】委員の皆様からは、全体を通して何かご意見・ご質問等はあるか。

【全委員】意見・質問なし。

5 閉会

【委員長】以上で本日のごみ市民会議を終了する。